

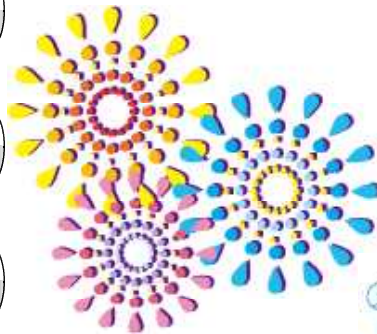
SSKS 風の子便り

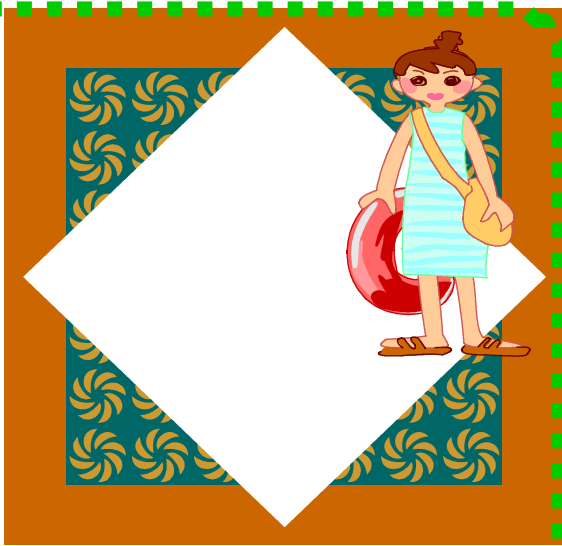
ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

- ☆虫めがね1 2
- ☆虫めがね2・
活動報告・寄付のお礼 3
- ☆賛助会のお詫び・
歌踊りボランティア募集・
スケジュール 4
- ☆学習会報告 5
- ☆小野塚連載 6
- ☆夕会便り 7
- ☆編集後記 8





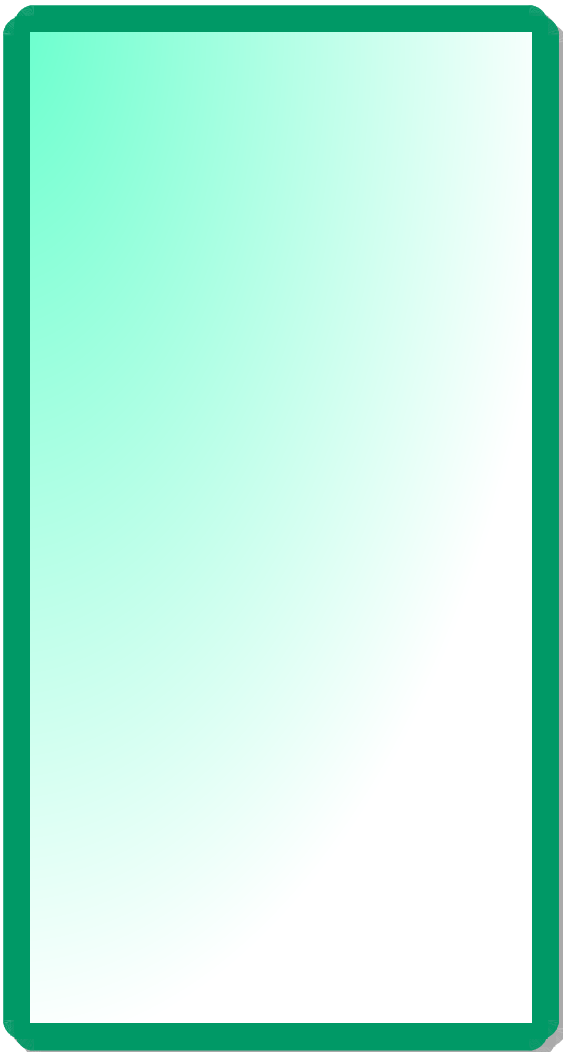
～もしも生まれ変わったら～

巻頭文

この季節は湿気が多くてムシムシしますね。高温多湿の日本ですから仕方ないですね。私は、エアコンの除湿機能を利用して過ごすように心がけています。節電にもなりますし・・・。一石二鳥です。 三木 直人



虫めがね



私の世代は、世の中の大きく変化をする時代に育った。私にはもしも生まれ変わったら青春時代、忠君愛国の精神に燃えていた私は、今度生まれ変わったら、海軍士官になる。

今私がなりたいのは、歴史作家で、過去の歴史を正しく忠実に解りやすくおもしろい歴史小説家になりたい。



和栗 顕太郎





もし今度この世に生まれ変わ
れたら、正義の弁護士、金持
ちから多額の報酬を頂き、そ
の代わりに弁護士料が貧しい
ため払えない人は、タダでも
弁護を引き受けるという正統
派弁護士になりたいと思いま
す。結局僕は、何十年前に放
送された、「ペリーメイスン」
の映画が僕の憧れとなってい
るようです。

太田 稔

虫めがね

くもしも生まれ変われたらく

活動報告

今迄使っていたベッドが古くなった・リクライニングしかた
きないという理由等で、新しく多機能なベッドを購入しました。
ボランティアの神田さんが来てくれました。
二十六日に明治学院の方が来られて、風の子会のみんなと明
治学院生でコラボして何かをしようと言う話し合いをしていま
した。

田村 亮彦

寄付のお礼

賛助会にご賛同して
下さった方

三木順子様 福島照行 幸子様
松本成子 内田茂様
滝口雅祥様
光悠綜合サービス様
佐久間鍵 久仁子 庸様

寄付をして下さった方

小野田和子様

～お詫び～

賛助会員の皆様にお送りさせて頂いております会報「風の子便り」ですが、5月号にて賛助会の振込用紙を同封せず送ってしまい、皆様に大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。今月6月号にて同封致します。

まだまだ未熟な会ではございますが、今後とも御指導、御支援の程よろしくお願い申し上げます。

風の子会一同

「歌と躍りの集い

ボランティア募集」

毎年恒例の「歌と躍りの集い」のお手伝いして下さる方を募集したいと思っております。今年七月九日（土）に麻布区民センターで行われます。風の子会の演目は、毎年拍手喝采で好評を得ており、楽しみにされている方が多く、それ故練習にも、気合いを入れて居ます。年齢・経験は問いません。職員が、丁寧に指導しますので、お気軽にご連絡下さい。担当は山名・丸山までお願い致します。

三木 直人

スケジュール

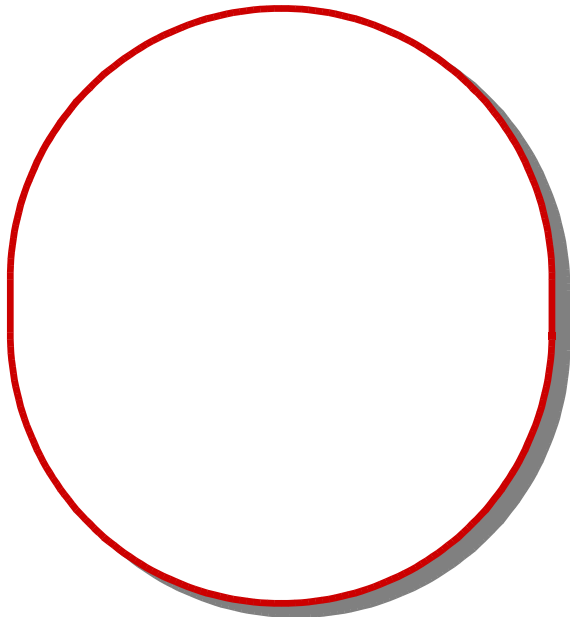


6月14日 運営委員会

6月18日 総会

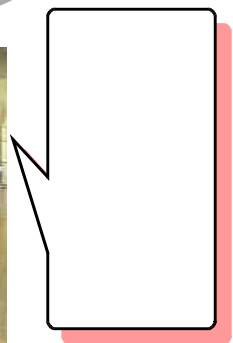
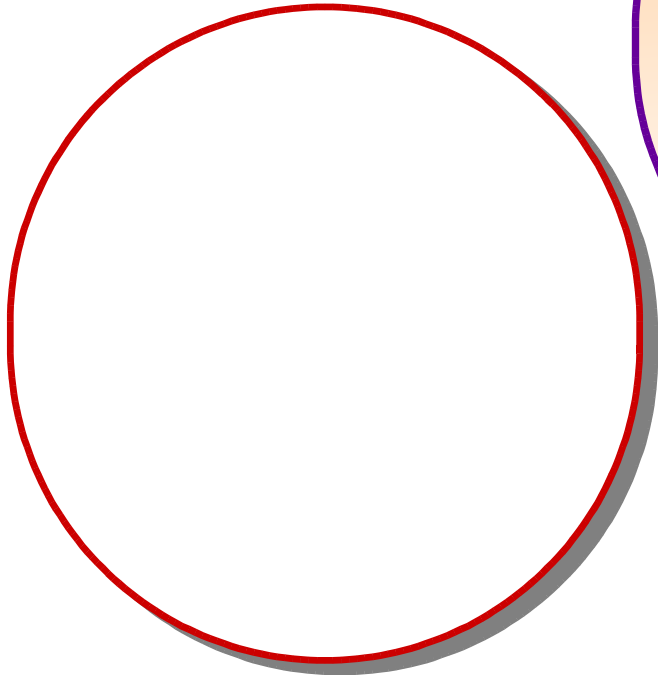
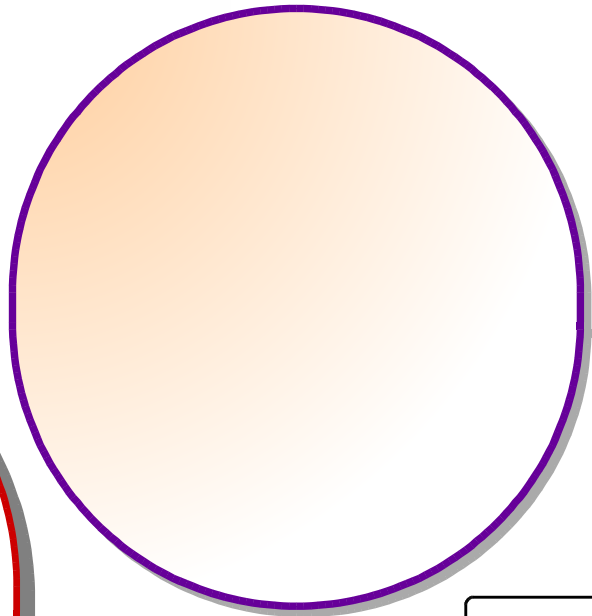
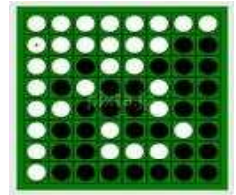
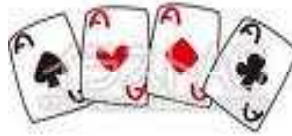
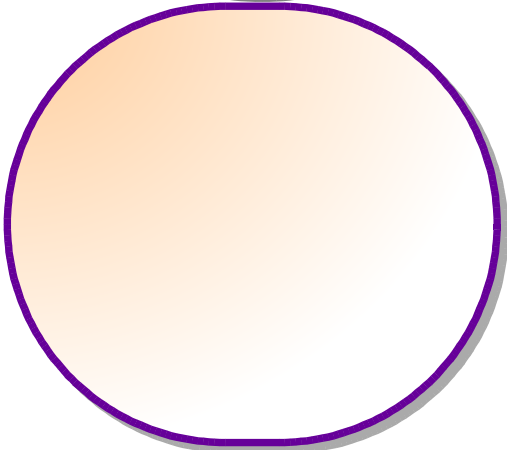
7月 9日 歌と踊りの集い





学習会報告

担当・田中



わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語のdormitory つまり寮という意味】

第37話 温泉、そして夜通し飲む（うーむ、イマイチなラストだ）

レストランでの食事を終えて部屋に戻って一服する。「んじゃ、ひとつ風呂浴びにいけますか」「ですね」「俺、カラスの行水なんだけどなあ」「温泉くらい、ゆっくりつかろうぜ」浴衣に着替えて風呂の支度をしながら四者四様に騒ぐ「露天風呂、楽しみー！」。部屋を出てレストランへ行く通路をまた通り、同じエレベーターに乗り今度は地下へと降りる。降りたフロアには温泉の暖かい空気が充満していた。「じゃあヅカシ達またね！」「おう！ 露天を満喫しろよ」「うん！」そして僕らは男湯の暖簾をくぐる。

ざっと服を脱いで浴室に向かう。温泉独特の匂いがする。髪と体を手早く洗って湯舟にかかる。「ぶはあ、やっぱいいな温泉は」「肌触りがいいですね」「カラスなんで俺そろそろ・・・」早くも上がろうとするイチの両肩をがっしりと押さえ込む。「せっかくの温泉なんだ。もすこし堪能しろや」「そうですよ、露天もあるんだし」湯舟にぶかりと浮かびながらヒロセがまったりと言う。「じゃ、露天行こうぜ！ 露天」僕の制御を振り切りイチは立ち上がる「ったく、本当にカラスな奴め」僕も立ち上がり露天風呂へと歩き出す。「僕はもう少し漂ってまーす」ヒロセは湯舟に浮かんだままだった。

外に出ると空気がきりっとした。3月といっても長野の夜はまだ冷える。「うう、さみいな」慌てて風呂に入る。冷えた空気と暖かい温泉。何とも心地いい瞬間だ。「思いつきとはいえ、なかなかいい企画だったろ？」「ああ、来て良かったな」空には星が見える。都心よりも遙かに数が多い。冬の第三角形だって簡単にみつけれそうだ。「・・・5年目か・・・」星空を見上げながら呟いたその言葉は、そのまま流れ星に流してしまいたかった。「やるしかないだろ」星は流れず、言葉は湯舟の上にふわりと浮いたままだった。「そうだな。まあ、後輩にもなんとか受け入れられてはいるようだし、ちゃんと講義に出て、一年で残りの単位を取りきらなきゃな・・・」言葉が、湯の底にちゃぽんと音を立てながら沈んでいった。

温泉を出て部屋に戻る。テーブルに缶ビールとつまみを並べて飲む準備を整える。「それでは、今日は一日お疲れ様でしたー！」「温泉気持ちよかった！」「僕ちょっと入りすぎちゃったみたいです・・・」「やっぱ風呂上がりの最初の一杯はサイコーだな！」缶ビールを空けながら夜は更けていく。「僕らもう3年目ですよ」ほろ酔い加減のヒロセが口を開く。「ちゃんと卒業できるのかなあ」自問のようにつぶやくヒロセに、ついやっかんでしまう「ま、俺みたいな生活しなければ、普通に卒業できるだろ？」3缶目のプルタブをあげながら、やや自虐的に言う。「だよな。ヅカシって全然ガッコー行ってないイメージあるもんね」呆れ笑い気味にトモが言う。「これでも去年はけっこう頑張ったつもりなんだけどな。ていうか、おまえらだって似たようなもんだろ？」マルボロに火を点けながらちょっと反撃してみる。フィリップモリスを啜えながらヒロセが「だってヅカシが徹マンにしょっちゅう誘うからじゃないですか」と言い、セブンスターの一缶が「つまり結局、全てはヅカシのせいってことだ」と付け加えるので「ひでえな」としか言い返せなくなってしまった。

そんな風に夜通し飲み明かしてそのまま雑魚寝し、昼前に眠い目をこすりながら必死に支度を整えて帰途に着いた。この、イチの卒業祝い旅行は僕の寮生活の大切な思い出としてとても重要なものとなっている。そしてこれからが、僕のドミトリーライフの5年目の実質的なスタートとなる訳だ。

～ いよいよ5年目へ ～



四月二日【旅行・外に出よう・歌踊等】
旅行の行き先だった富士レイクホテルは、障害者団体の定員が四十名だったので、第二候補の『箱根方面』になりました。
また外に出ようのキヤッチコピィを決めました。意見が多数挙がり多数を取った結果、『港区だよ！全員集合』に決まりました。
歌と踊りの集いで行う物のジャンルについて話し合いました。多数決の結果、『歌って踊る』に決まりました。
今後風の子でやりたい事を話し合いました。沢山案が挙がり、取り敢えず今年度は『料理教室』と『クラブ活動』を重点的に行なっていくということになりました。



四月二日【旅行・外に出よう・歌踊等】
旅行の行き先だった富士レイクホテルは、障害者団体の定員が四十名だったので、第二候補の『箱根方面』になりました。
また外に出ようのキヤッチコピィを決めました。意見が多数挙がり多数を取った結果、『港区だよ！全員集合』に決まりました。
歌と踊りの集いで行う物のジャンルについて話し合いました。多数決の結果、『歌って踊る』に決まりました。
今後風の子でやりたい事を話し合いました。沢山案が挙がり、取り敢えず今年度は『料理教室』と『クラブ活動』を重点的に行なっていくということになりました。

九日【外に出よう・区民まつり等】
外に出ようの出欠確認をしたところ、何人かは不参加でしたが、ほとんどが参加予定です。
区民まつりの開催日が十月八日（土）・九日（日）に粗決まり、出欠もメンバー全員が参加予定ということでした。
風の子と明治学院との商品のコラボレーションをするという予定が出ています。
十六日【クラブ活動について】
やるかどうかの決り内容を話し合いました。
二十三日【歌と踊りの集い】
歌と踊りの集いの詩を書く時間になりました。
三十日【歌と踊りの集い】
演ずる内容の詳細を話し合い、今年度は『時代物』になりました。
田村亮彦

九日【外に出よう・区民まつり等】
外に出ようの出欠確認をしたところ、何人かは不参加でしたが、ほとんどが参加予定です。
区民まつりの開催日が十月八日（土）・九日（日）に粗決まり、出欠もメンバー全員が参加予定ということでした。
風の子と明治学院との商品のコラボレーションをするという予定が出ています。
十六日【クラブ活動について】
やるかどうかの決り内容を話し合いました。
二十三日【歌と踊りの集い】
歌と踊りの集いの詩を書く時間になりました。
三十日【歌と踊りの集い】
演ずる内容の詳細を話し合い、今年度は『時代物』になりました。
田村亮彦



※今月号の和栗さん連載は、作者の都合によりしばらく延期とさせていただきます。



3月の震災以降ずっと、いまだに避難所での生活を余儀なくされている人達がいる。一方都内では夏の計画停電に対して頭を悩ませている。原発は修復の兆しが見えない。政治も経済も復興を第一と捉え、景気は下げ止まりのまま。このままだと負のスパイラルが進むばかりだ。日本が一丸となり、元気な方へと向かおう。自粛ムードはそろそろやめるべきだ。

小野塚 航

三月十一日に発生した、東日本大震災で亡くなられた方にご冥福を申し上げますと共に、震災や津波で家を失われた方にも、お悔やみを申し上げます。東京電力の原発問題により農家の方々を初め、計画停電で私達にも被害を受けることになりました。この夏も計画停電が行われるそうです。今年の夏も猛暑だということなので、節電について今から考える必要があるかもしれません。

今回の大震災で、芸能人の方々が物資を届けに行ったり、炊き出しを行ったりをテレビなどで見ると、僕も何かお力になれることがしたいと思います。たとえば、被害に遭われた県の特産物などを購入をしたり、募金に協力をするなどが、考えられるでしょうか。皆さんも、東日本を盛り上げていきましょう！！

田中 聡



ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

編集者
柳吉右松田小太
川田田本中野田
敬久磨恵 圭
事代子司聡航子

和幸三田佐太
栗 木村久田
顕 間
太高直亮
郎史人彦庸稔

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

